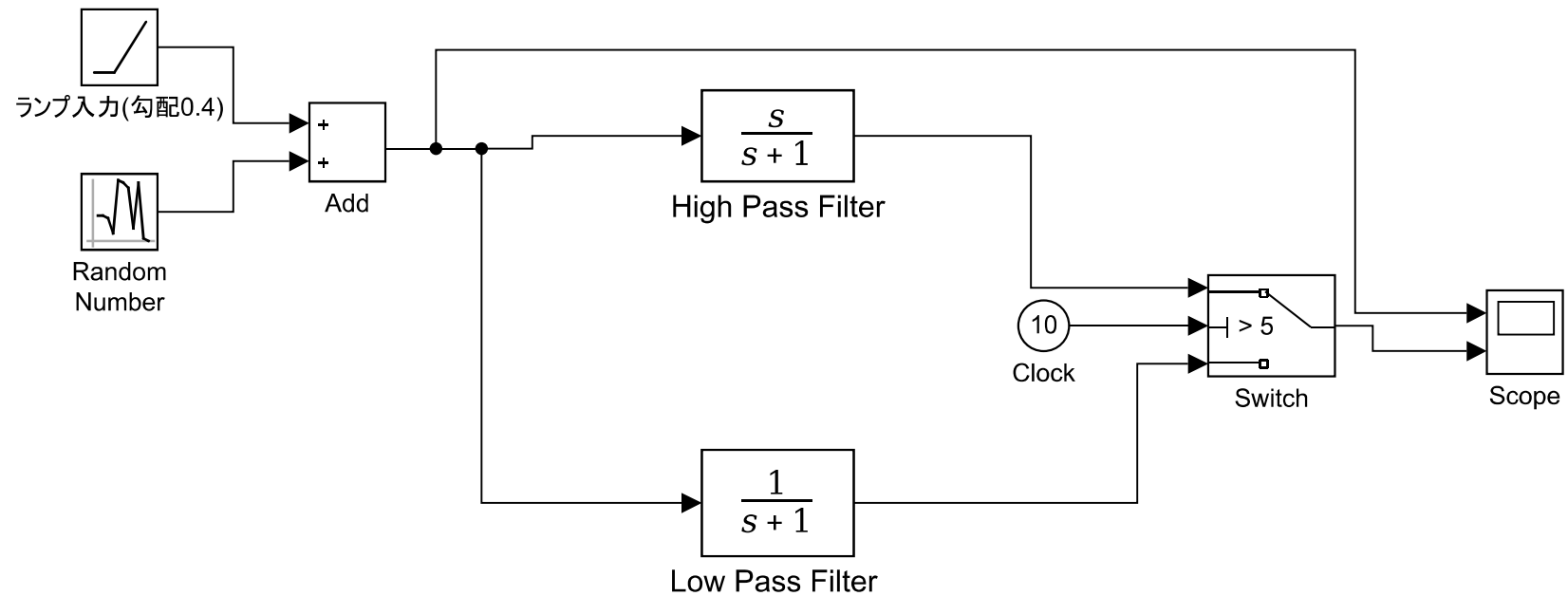


ランダムノイズ信号は、伝達関数ブロックを経由してScopeに出力されています。
サンプルモデルに配置した伝達関数は、
上側がHPF(ハイパスフィルタ)特性、下側がLPF(ローパスフィルタ)特性を示しており、
ランダムノイズ信号が通る伝達関数はclockブロックとswitchによって時刻5秒を境にLPF→HPFへと特性が切り替わります

DC成分がランプ入力信号の場合(ジャイロセンサのドリフトを想定)



0～5秒はLPFにより高周波は除去されているが、DC成分が残っている
5秒後、HPFによりDC成分(オフセット)が除去されている